

第47回 広島県中学校柔道選手権大会要項

- 1 主 旨 本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くスポーツ活動の機会を与え、競技力の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な生徒を育成するとともに、相互の親睦をはかることにより中学校体育・スポーツの振興と競技力向上をねらう。
- 2 主 催 広島県中学校体育連盟 広島県教育委員会 広島県柔道連盟
- 3 後 援 (公財)広島県体育協会 広島県公立中学校長会 広島県PTA連合会
広島市教育委員会
- 4 主 管 広島市中学校体育連盟
- 5 会 期 令和元年7月20日(土)～21日(日)
- 6 日 程 令和元年7月20日(土) 9:30 受付・計量 11:30 監督・引率代表者会議
12:00 開会式 開会式終了後 男女個人
7月21日(日) 9:00 受付 10:00 試合開始 男女団体戦 14:00 閉会式
- 7 会 場 広島県立総合体育館武道場 広島市中区基町4-1 ☎082-228-1111
- 8 競技種目 男子・女子団体戦 男子・女子個人戦
- 9 参加資格 (1) 広島県中学校体育連盟に加盟する生徒で、学校長が参加を認めたもの。
(2) 年齢は平成16年4月2日以降に生まれたものに限る。
(3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに各郡市の中学校体育連盟を通して、広島県中学校体育連盟に申し出ること。
(4) 引率・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※とする。
(※部活動指導員とは学校教育法施行規則第78条の2に示されている者とする) 外部コーチを1校・1チーム1名おくことができる。外部コーチは、出場校の校長が認めた者とし、所定の「コーチ確認書(校長承認願)」を提出する。ただし、当該校以外の校長・教職員(一貫校および同一敷地内の系列校を除く小・中・高・高等専門学校を除く)は、外部コーチにはなれない。また、同一人が複数校の外部コーチにはなれない。引率・監督は当該校の校長・教員であること。
(5) 大会引率者の特例
① 広島県中学校体育大会の引率者特例措置規程にもとづき、当該校の校長より申請され、広島県中学校体育連盟会長が認めた保護者又は地域のスポーツ指導者。
② 参加を希望する学校は、広島県中学校体育大会の引率者特例措置規程および細則を遵守すること。
③ 所定の様式を、参加申込書とともに各競技の申込先へ提出すること。
④ コーチをつけることは、認められない。
(6) 参加資格の特例
学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各郡市中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
(7) 大会申込は、陸上競技・水泳競技を除く個人戦に限り1競技とする。ただし、相撲については上位(中国・全国大会)への出場権を得たものにのみ適用する。
(8) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・部活動指導員・外部コーチ・トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする
- 10 参加制限
- [団体] (1) 男子団体 26 チーム：広島地区 7、大竹・廿日市地区 3、呉・賀茂地区 6、福山地区 6、南部地区 1、備北地区 2、芸北地区 1 以内とする。
女子団体 19 チーム：広島地区 4、大竹・廿日市地区 3、呉・賀茂地区 4、福山地区 4、南部地区 1、備北地区 2、芸北地区 1 以内とする。
- (2) 男子は選手 7 名 監督 1 名。女子は選手 4 名 監督 1 名。
団体の編成は、体重の最も重い者を大将とし、以下体重順に編成すること。
- [個人] 男子個人：広島地区 4、大竹・廿日市地区 3、呉・賀茂地区 3、福山地区 4
南部地区 1、備北地区 1、芸北地区 1 以内とする。
女子個人：広島地区 4、大竹・廿日市地区 2、呉・賀茂地区 3、福山地区 3
南部地区 1、備北地区 1、芸北地区 1 以内とする。
- [男子] 8 階級：50kg 級・55Kg 級・60Kg 級・66Kg 級・73Kg 級・81Kg 級・90 kg 級・90kg 超級
- [女子] 8 階級：40kg 級・44Kg 級・48Kg 級・52Kg 級・57Kg 級・63Kg 級・70 kg 級・70 kg 超級
- ※ 団体、個人とも地区代表制とする。
- ※ 出場者は、柔道修行経験 6 ヶ月以上であることが望ましい。

- 11 大会負担金 (1) 登録選手（生徒のマネージャーは含む）1人につき、900円とする。
 (2) 納入方法
 ①参加申し込みと同時に各郡市中体連に納入すること。
 ②納入方法については、各郡市中体連の定めによる。
 ③各郡市中体連はとりまとめて、県中体連が指定する口座に不振り込むこと。
 (3) 原則として大会負担金の返金を行わない。但し、大会が全く実施できなかった場合にのみ、必要経費を除いた後に返金する。（全額にならない場合がある。）
- 12 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2019年施行のルール）及び国内における「少年大会特別規定」による。
 (2) 柔道衣は白色とする。
 (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
 (4) 女子の黒帯使用は、白線なしの黒帯を使用する。
 (5) (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（赤色のマーキングのもの）
- 13 競技方法 (1) 団体戦
 ①男女ともトーナメント方式を行う。
 ②男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
 ③チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
 ※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
 ④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
 ⑤勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。
 ⑥優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
- 「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差」
- ⑦勝敗は、次の方法によって決定する。
 ア チーム間における勝ち数による。
 イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
 ⑧代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- (2) 個人戦
 ①男女とも、各階級トーナメント方式で行う。
 ②試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
 ③勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- (3) 試合順がきても試合場に上がらない選手がいた場合には、放送による呼び出しを1分間隔で行う。3回目のコールでも上がらない場合は棄権したものとみなす。
- 14 組合せ 令和元年6月28日(金)に広島県中体連柔道専門委員会において抽選し決定する。
- 15 監督・引率 日時 令和元年7月20日(土)11:30～
- 代表者会議 会場 広島県立総合体育館武道場
- 16 表彰 団体、個人とも上位3位までを表彰する。
- 17 参加申込 (1) 期限 6月20日(木)
 ※各学校は各地区の専門委員長に提出。(各地区で申込み期限を定める)
 各地区委員長が取りまとめて、提出すること。
 ※広島市は6月28日(金)に委員長が持参すること。
- (2) 申込先 〒739-0041 東広島市西条町寺家6466 西条中学校
 佐伯 卓哉 宛 TEL(082)423-2529 fax(082)423-2571
- 18 宿泊申込 (1) 期限 6月28日(金)
 (2) 申込先 「ホテルニューまつお」〒732-0056 広島市東区上大須賀町14-9
 TEL 082(262)3141 fax 082(261)2256
 (3) 宿泊費 1泊2食付 6,800円(税別) 弁当代 700円(税込みお茶つき)
 (4) 申込方法 各学校が「宿泊・弁当申込書」に必要事項を記入の上、faxまたは郵送にて申込む。

19 その他

- (1) 団体戦男女優勝チーム、個人戦男女各階級優勝者は兵庫県姫路市で行われる全国中学校柔道大会への出場権を得る。
また、島根県で行われる中国中学校柔道大会に、団体は男女とも上位2チーム、個人は男女とも上位2名が参加する。
中国大会に出場権を得た生徒は、必ず出場すること。（申し込み後の疾病・傷害等による欠場は除く）
- (2) 会期中の悪天候等への対応について
午前6時に気象庁（气象台）より開催地に警報が発表されたときは、大会（競技）の運営を原則として見合わせる。
・警報の内容によって開催地には特に影響がないときは、開催地実行委員会が安全を確認し、競技役員が安全確保（対策）に配慮の上、実施することができる。開催の有無は、午前7時にホームページに掲載する。
・競技中に警報が発令されたときは、競技の実施を中断するなどの緊急安全対策を講じる。
注1 選手（団）だけでなく、競技役員・生徒役員等も含めて安全対策を考える。
注2 状況を常に関係者（引率者）に情報提供を行う。
- (3) 個人情報のうち、大会運営上必要な選手名・学年・所属・体重について公開します。
尚、報道機関に記録の提供を求められた際には記録の提供をします。参加校にあってはその旨を承諾のうえ参加申込みを行うこと。
- (4) 開会式、閉会式は原則として全校参加すること。
- (5) 体重測定は、大会第1日目の所定の時間に実施する。
但し、団体戦のみの出場校で、諸事情により第1日目にできない場合は必ず事前に各地区専門委員長に連絡し、校長の意見書を提出すること。
- (6) 全日本柔道連盟の登録者は、登録番号を記入すること。
- (7) 柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
①布地は白地（晒、太綾）とする。
②サイズは横 30～35 cm、縦 25～30 cm とする。
名字（姓）は上側 2/3、学校名は下側 1/3 とする。
※学校名の《中》の文字の加除は任意とする。
③書体は太字ゴシック体または明朝体とし、文字色は男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
④縫いつけの場所は後ろ襟から 5～10 cm 下部の所で、ゼッケンの四辺を縫いつけ、対角線にも強い糸で縫いつける。
⑤女子のTシャツは白の無地、丸首Tシャツとする。（ワンポイント可）
- (8) 監督・コーチは審判服に準ずる服装とする。
- (9) 中国大会出場者は、以下の手続きで中国大会負担金を事前納入すること。
①登録選手1人につき2,000円とする。
②参加申し込みと同時に、各競技専門委員長に、県選手権大会終了後2日以内に納入すること。
③納入方法については、各競技専門委員会の定めによる。
④各競技専門委員長は、とりまとめて県中体連が指定する口座に振り込むこと。
- (10) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること
①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

